

令和 3（2021）年度長野大学入学者選抜の予告

本学では、令和 2（2020）年度に実施する令和 3（2021）年度大学入学者選抜を次の通り実施する予定である。

I. 大学入学者選抜における基本方針

- (1) 学力の 3 要素をすべての入学者選抜区分で可能な限り評価する。ここで、学力の 3 要素とは、①「知識・技能」、②「思考力・判断力・表現力」、③「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」のことである。
- (2) 提出書類(志望理由書、学習・活動計画書、業績書、調査書)の活用
提出された書類は、学習意欲など、学力試験によっては測ることのできない能力や態度をより適切に評価するため、入学者選抜において合格者判定に活用する。なお、学校推薦型選抜にあたっては、推薦書も合格者判定で活用する。
 - (1) 志望理由書は、本学各学部への志望動機と大学で期待する学習内容および自己 PR を示す書類であり、総合型選抜及び学校推薦型選抜の合格者判定で活用する。
 - (2) 学習・活動計画書は、本学各学部への志望動機と大学で期待する学習内容、自己 PR 及び入学前学習の内容を示す書類であり、総合型選抜の合格者判定で活用する。
 - (3) 業績書は、受験生の高校 3 年間における「特徴ある活動(地域内での諸活動、資格取得のための活動、コンクールやスポーツでの優秀な成績を修めた活動)」を示す書類であり、総合型選抜と一般選抜前期日程の合格者判定で活用する。
 - (4) 調査書は、受験者の高校 3 年間の主体的、能動的な学びが集約された資料として活用する。合格者判定において、調査書の「全体の評定平均値」、「各教科の履修状況」および「指導上の参考となる諸事項」などを総合的に判断して点数化し、学校推薦型選抜と一般選抜公立大学中期日程の合格者判定で活用する。
- (3) 総合型選抜と学校推薦型選抜
総合型選抜と学校推薦型選抜は、令和 2（2020）年度と同様の形式・方法で選抜する。なお、出願資格・入試日程・募集人員・合否判定基準などの見直しを行うことがある。
- (4) 一般選抜における大学入学共通テストの活用
大学入学共通テストを一般選抜において出願者に課し、合格者判定に活用する。
- (5) 一般選抜における英語の外部検定試験(大学入試センターによる認定試験)の活用
英語の 4 技能(「読む」「聞く」「話す」「書く」)を評価するために、英語の外部検定試験(認定試験)を一般選抜において合格者判定に活用する。

II. 学力の3要素の評価方法

学力の3要素については、小論文試験、個別試験、面接試験、大学入学共通テスト、提出書類の審査を通して評価する。各選抜における評価方法は次の通りである。【参考表】を参照のこと。

1. 総合型選抜

総合型選抜においては、小論文試験により、①「知識・技能」と②「思考力・判断力・表現力」を評価し、面接試験により、②「思考力・判断力・表現力」と③「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し、提出書類(志望理由書または学習活動計画書および業績書)により、①「知識・技能」と②「思考力・判断力・表現力」を評価する。なお、志望理由書または学習活動計画書は面接試験において活用する。

2. 学校推薦型選抜

学校推薦型選抜においては、個別試験(国語)により、①「知識・技能」と②「思考力・判断力・表現力」を評価し、面接試験により、②「思考力・判断力・表現力」と③「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価し、提出書類(調査書)により、①「知識・技能」と②「思考力・判断力・表現力」を評価する。なお、提出書類(志望理由書)は面接試験において活用する。

3. 一般選抜

(1) 前期日程

前期日程においては、大学入学共通テストにより、①「知識・技能」と②「思考力・判断力・表現力」を評価し、提出書類(業績書)により、①「知識・技能」と②「思考力・判断力・表現力」を評価する。

(2) 公立大学中期日程

公立大学中期日程においては、大学入学共通テストにより、①「知識・技能」と②「思考力・判断力・表現力」を評価し、個別試験(国語および英語または数学)により、①「知識・技能」と②「思考力・判断力・表現力」を評価し、提出書類(調査書)により、①「知識・技能」と②「思考力・判断力・表現力」を評価する。

III. 大学入学者選抜の実施概要

1. 総合型選抜と学校推薦型選抜

総合型選抜と学校推薦型選抜の試験は、令和2(2020)年度と同様の形式・方法で実施する。なお、出願資格・入試日程・募集人員・合否判定基準などの見直しを行うことがある。

(1) 総合型選抜

小論文試験、面接試験、提出書類(志望理由書または学習・活動計画書および業績書)で学力の3要素を評価する。小論文試験及び提出書類の評価により1次選考を行い、1次選考合格者に対して2次選考を行う。2次選考は、小論文試験、面接試験、提出書類を総合的に評価し、合格者を判定する。

(2) 学校推薦型選抜

個別試験(国語)、面接試験、提出書類(志望理由書・調査書)で学力の3要素を評価する。個別試験(国語)及び提出書類(調査書)の評価により1次選考を行い、1次選考合格者に対して2次選考を行う。2次選考は個別試験(国語)、面接試験、提出書類(調査書)を総合的に評価し、合格者を判定する。なお、提出書類(志望理由書)は面接試験において活用する。

2. 一般選抜の変更点と概要

(1) 概要

一般選抜は、これまでと同じく前期日程と公立大学中期日程で試験を実施する。これらの区分で合格者判定に大学入学共通テストを活用するとともに、提出書類を活用する。

(2) 大学入学共通テストの活用

一般選抜(前期日程・公立大学中期日程)では、大学入学共通テストを合格者判定に活用する。各選抜で必要となる教科・科目は令和 2 (2020) 年度と同様とする。なお、大学入学共通テスト実施方針に示された出題教科・科目が変更される場合には、本学の選抜試験においても見直しを行うことがある。

(3) 英語の外部検定試験(大学入試センターにおける認定試験)の活用

英語の 4 技能(「読む」「聞く」「話す」「書く」)を評価するために、一般選抜において外部検定試験(認定試験)を活用する。具体的な活用方法については慎重に検討を進め、受験生の外部検定試験(認定試験)の受験状況等を踏まえて決定し、各年度の長野大学入学者選抜要項において公表する予定である。

(4) 記述式問題

国語と数学の記述式問題に関しては、大学入試センターから提供された結果を点数化し、マーク式の得点と合わせて入学者選抜に利用する。点数化の方法については、今後実施される試行調査の結果などを参考にして決定する。これらの配点は現行の大学入試センター試験を踏襲するが、詳細については各年度の長野大学入学者選抜要項において公表する予定である。

(ア)国語記述式

国語の記述式の結果を点数化し、マーク式の得点と合わせて入学者選抜に利用する。記述式の点数化の方法については、今後実施される試行調査の結果などを参考にして決定する。国語の配点は、現行の大学入試センター試験を踏襲する。配点などは各年度の長野大学入学者選抜要項において公表する予定である。

(イ)数学記述式 数学の記述式の得点は、マーク式の得点と合計して、100 点満点で大学入試センターより通知される予定であり、現行の大学入試センター試験の数学①の取り扱いを踏襲する。配点などは各年度の長野大学入学者選抜要項にて公表する予定である。

(5) 提出書類の活用

(ア)業績書

業績書は、受験生の高校 3 年間における「特徴ある活動(地域内での諸活動、資格取得のための活動、コンクールやスポーツでの優秀な成績を修めた活動)」を示す書類であり、一般選抜前期日程で活用する。業績書には、特徴ある活動を証明する客観的資料(ボランティア時間と内容が記された証明書、資格認定団体の認定書、賞状、新聞・雑誌の切り抜きおよびメンバー表など)のコピー(A4 版)を添付するものとする。

(イ)調査書

調査書は、受験者の高校 3 年間の主体的、能動的な学びが集約された資料として公立大学中期日程の合格者判定に活用する。合格者判定において、調査書の「全体の評定平均値」、「各教科の履修状況」および「指導上の参考となる諸事項」などを総合的に判断して点数化し、試験得点に加算する。

IV. 今後の公表予定

新たな入学者選抜方法は公立大学として公平性の担保が必要である。したがって、上記予告は今後の選抜方法の精査に伴い、一部変更となる場合がある。変更がある場合は、随時本学ホームページで公表する。令和 3 (2021) 年度入学者選抜の具体的な実施内容などの詳細については、平成 30(2018)年度中に本学のホームページで公表する。

【参考表】入学者選抜における「学力の3要素」の評価方法

選抜区分	学力の3要素		
	知識・技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って 多様な人々と 協働して学ぶ態度
総合型選抜	小論文試験 志望理由書または 学習活動計画書 業績書	小論文試験 面接試験 志望理由書または学 習活動計画書 業績書	面接試験 (志望理由書または 学習活動計画書)
学校推薦型選抜	個別試験(国語) 調査書	個別試験(国語) 面接試験 調査書	面接試験 (志望理由書)
一般選抜 前期日程	大学入学共通テスト 業績書	大学入学共通テスト 業績書	
一般選抜 公立大学中期日程	大学入学共通テスト 個別試験 調査書	大学入学共通テスト 個別試験 調査書	